

■ 港湾

管内の重要港湾である稚内港は、漁業基地であるとともに物流拠点となっており、稚内港の令和5年（2023年）の輸出入額は、197億円となっています。

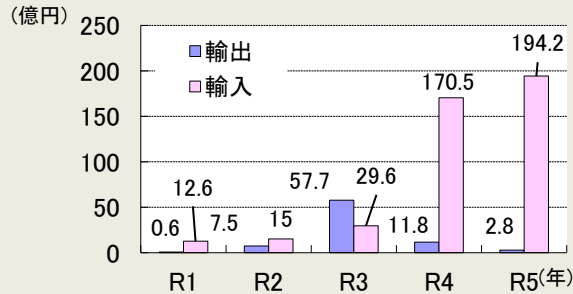
管内の港湾

稚内港 香深港 枝幸港
宗谷港 杵形港 鷺泊港

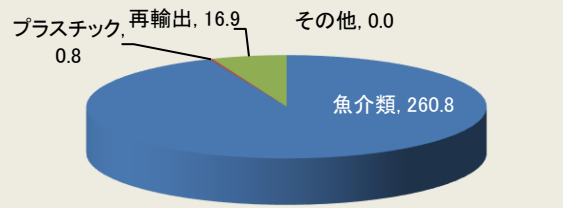
大型クルーズ船の入港

令和4年度 稚内港：ばしふいっくびいなす
杵形港：にっぽん丸

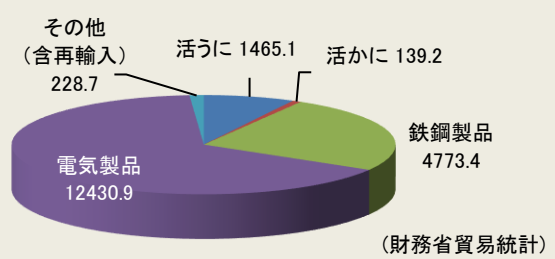
稚内港の輸出入実績の推移（財務省貿易統計）



稚内港輸出品目（令和5年）



稚内港輸入品目（令和5年）



■ 空港

現在、稚内空港では近年国内各空港からのチャーター便が増加している傾向にあります。

稚内空港は、道内6空港とともに、運営が北海道エアポート（株）（HAP）に委託され、空港ビルは令和2年（2020年）1月から、滑走路等は令和3年（2021年）1月から、HAPによる運営が開始されました。

稚内空港のチャーター便

R5年度 111便

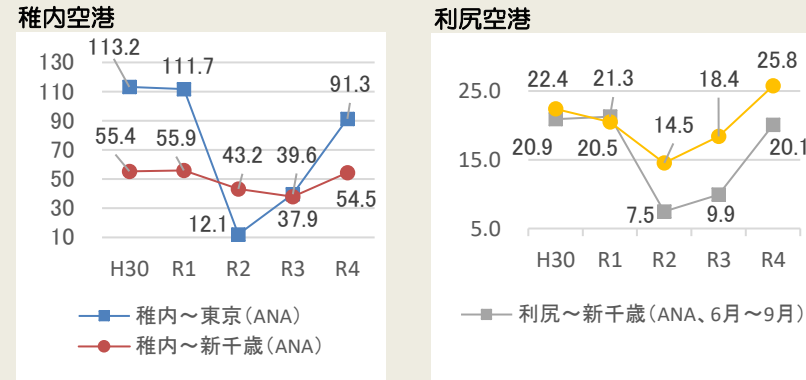


令和3年（2021年）3月より全面的な民間委託による運営が始まった稚内空港

管内空港概要

名称	種別	設置管理者	滑走路規模	開港
稚内	国管理空港	国土交通省	2,200m × 45m	昭和35年4月 (滑走路1,200m)
利尻	地方管理空港	北海道	1,800m × 45m	昭和37年8月(滑走路600m)
礼文	地方管理空港	北海道	800m × 25m	昭和53年6月(滑走路800m) (平成21年4月から運用休止中)

稚内空港・利尻空港発着便利用者数の推移



(航空輸送統計調査)

■ 航路

管内には、稚内と利尻島・礼文島、また、利尻島と礼文島を結ぶフェリーが運航しており、離島住民及び観光客の重要な交通手段となっています。

■ 利用促進の取組

宗谷総合振興局では、地域公共交通の将来の利用者となる子どもたちに、鉄道やバスを身近に感じてもらう、公共交通の大切さや魅力を伝えるため、管内小学生を対象に乗車体験会を令和元年より実施しています。

利礼航路旅客数及び車両数の推移

